

# 全国高等学校家庭科保育技術検定

## 言語表現技術 指導資料

令和7年度

# 言語表現技術（概要）

	内容	方法・時間
3 級	童話や物語の短い文章の読み聞かせ	個別・2 分
2 級	紙芝居の実演	個別・3 分
準 1 級	絵本の読み聞かせ	個別・3 分
1 級	お話の創作と実演	個別・3 分

童話や物語の  
短い文章の読み聞かせ

| 3 級

# Ⅰ ねらい

童話や物語の短い文章を、  
正しく読んだり表現したり  
することにより、幼児  
の発達段階にふさわしい  
言語表現の基礎的技術が  
身に付いたかを測る

## 2 内容（実技）（2分程度）

指示された童話や物語の短い文章を，指定された年齢の幼児の発達段階にふさわしく読み聞かせる

※出題されるお話は、2分程度の文章量

### 3 方法（受検生の動き）

◎**指定年齢**は1週間前に提示される

◎**実技問題（お話）**は受検3分前に提示される

(1) 所定の場所に行き，個票に必要事項を記入し，

実技問題（お話）の下読みをする（**3分間**）

(2) 入室し，挨拶をしてから実技問題・個票を提出する

(3) 開始の合図で「**題名**」を言ってから読み始める

(4) 読み終わったら実技問題（お話）を提出し，

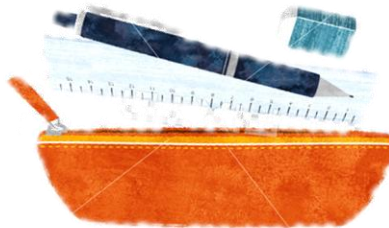
挨拶をして退出する

# 4 準備するもの（監督者）

採点表

ストップウォッチ等

筆記用具



# 評価

観点	読み方					態度	
	1	2	3	4	5	1	
得点事項	明瞭な発音で読んでいる	句読点、段落を適切にとらえて読んでいる	お話の内容や発達段階にふさわしい速さで読んでいる	お話の内容にふさわしい声で読んでいる	読み誤りがない	幼児と接するのにふさわしい服装、髪型、態度である。	実技得点計（35点以上合格）
得点	0・3・5・8・10	0・3・5・8・10	0・3・5・8・10	0・3・5・8・10	0・1・3・5	0・1・3・5	50
配点	45					5	



# 過去の出題例



「猿かに合戦」

「とっつく、ひっつく」

「なぞ問答」

「にぎりめしころころ」

「話十両」

「へこきじい」

参考図書 「日本の昔話」 第1～5集（福音館書店）

# 紙芝居の実演

| 2 級

# Ⅰ ねらい

紙芝居を用いて，幼児の発達段階にふさわしい演じ方ができ，その扱い方や言語表現の基礎的技術が身に付いたかを測る



## 2 内容（実技）（3分）

指定された年齢の発達段階にふさわしい紙芝居を用いて、その年齢の幼児を前にしたつもりで、適切な表現方法で演じる

### 3 方法（受検生の動き）

◎**指定年齢**は1週間前に提示される

◎指定年齢にふさわしい紙芝居を**各自が用意**する

(1)入室し，挨拶をしてから実技問題・個票を提出する

(2)開始の合図で「**題名**」を言ってから演じ始める（**3分間**）

(3)演じ終わったら，挨拶をして退出する

## 4 準備するもの

(受検生) 紙芝居

(監督者) 実技問題・個票,



採点表, ストップウォッチ等,

筆記用具



※「紙芝居の舞台」を用いることが  
望ましい

# 評価

観 点	紙芝居の演じ方					紙芝居の選択 と扱い方		態 度	減 点		実技得点計（ 35点以上合格）
	1	2	3	4	5	1	2	2	（±15秒以上の場合は1点減点する）	（構成した場合は5点減点する）	
得点事項	明瞭な発音で演じている	間の取り方が適切である	お話の内容や発達段階にふさわしい速さで演じている	登場人物にふさわしい声で演じ、感情をこめている	聞き手の反応を確かめている	発達段階にふさわしい紙芝居を選択している	内容を自分のものとし、適切な扱い方をしている	幼児と接するのにふさわしい服装、髪型、態度である			
得点	0・1・3・5	0・1・3・5	0・3・5・8・10	0・1・3・5	0・3・5・8・10	0・1・3・5	0・1・3・5	0・1・3・5			
配点	35					10		5			50

# 「構成する」とは

- ・文字を削る
- ・言葉を加える, 言葉を削る
- ・文章を加える, 文章を削る
- ・画面を飛ばす
- ・話をつくり変える



# 紙芝居の 舞台の活用



「紙芝居の舞台」を用いる  
ことが望ましい

絵本の読み聞かせ

準1級

# Ⅰ ねらい

幼児の発達段階にふさわしい絵本が選択でき、それに応じた読み聞かせの技術が身に付いたかを測る

## 2 内容（筆記）（10分）

- ・紙芝居の役割，演じ方，扱い方等に関する事
- ・絵本の種類に関する事
- ・絵本の読み聞かせの方法，絵本の選び方等について
- ・童話や昔話の著者，国や地方等について など

## 2 内容（実技）（3分）

指定された年齢の発達段階にふさわしい絵本を用いて、適切に扱い、表情豊かに読み聞かせを行う

### 3 方法（受検生の動き）

◎**指定年齢**は1週間前に提示される

◎**指定年齢**にふさわしい絵本を**各自が用意**する

(1)入室し，挨拶をしてから実技問題・個票を提出する

(2)開始の合図で「**題名**」を言ってから読み始める **（3分）**

(3)読み終わったら，挨拶をして退出する

# 4 準備するもの

(受検生) 絵本



(審査員) 実技問題・個票,

採点表, ストップウォッチ等,

筆記用具



# 評価

観点	読み方					扱い方		絵本の選択		減点		実技得点計（60点以上合格）
	1	2	3	4	5	1	2	1	2			
得点事項	表情豊かに、感情をこめて表現している	明瞭な発音で、読み聞かせている	お話の内容にふさわしい表現で、間の取り方が適切である	幼児への視線が適切で、聞き手の反応を確かめている	お話の内容や発達段階にふさわしい速さで読み聞かせている	「絵本の持ち方」が適切である	「絵本のめくり方」が適切である	発達段階にふさわしい絵本を選択している	絵と内容などがあっており、装丁がよい絵本を選択している	（±15秒以上の場合は2点減点する）	（構成した場合は5点減点する）	
得点	0・3・5・8・10	0・3・5・8・10	0・3・5・8・10	0・3・5・8・10	0・3・5・8・10	0・3・5・8・10	0・3・5・8・10	0・1・3・5	0・1・3・5			
配点	50					20		10				80



# 「構成する」とは

- ・文字を削る
- ・言葉を加える, 言葉を削る
- ・文章を加える, 文章を削る
- ・ページを飛ばす
- ・話をつくり変える

# お話の創作と実演

| 級

# Ⅰ ねらい

各自が選択した対象児  
（3～5歳児）にふさわし  
いお話を創作することがで  
き、そのお話を語ることに  
よって、言語表現の知識・  
技術が身に付いたかを測る

## 2 内容（筆記）（10分）

- ・ お話の創作や語りについて
  - ・ 絵本の歴史，作者等に関する事
  - ・ 言葉遊びや言語表現活動の名称
  - ・ 言語の発達，保育の目的・目標
- など

## 2 内容（実技）（3分）

指定された観点にふさわしい内容のお話を創作し、対象児を前にしたつもりで、感情をこめて語る

### 3 方法（事前の受検生の動き）

- ◎ 1 週間前に提示された観点にふさわしい内容のお話を創作する
- ◎ 対象児の年齢は受検生が決める
- ◎ 採点表の得点事項にそって3分で語れるように練習しておく

### 3 方法（検定時の受検生の動き）

- (1)入室し，挨拶をしてから実技問題・  
個票を提出する
- (2)審査員に対象児の年齢を知らせる
- (3)開始の合図で「題名」を言ってから  
語り始める
- (4)語り終わったら，挨拶をして退出する

# 「お話」の観点

## ① 自然観察に関する内容

「草花」 「野菜」 「樹木」 「気象」 「天体」  
「昆虫」 「動物」 「数量」 等

## ② 基本的な生活習慣に関する内容

「食事」 「睡眠」 「排泄」 「着脱」 「清潔」  
「安全」 「整頓」 「言葉」 等

## ③ 豊かな情操や心を育てる内容

「驚き」 「喜び」 「悲しみ」 「優しさ」  
「美しさ」 「愛情」 「思いやり」 等



## 4 準備するもの（審査員）

実技問題・個票，採点表

ストップウォッチ等，

筆記用具



# 評価

観点	話し方					内容				減点（±15 秒以上の場合は2点減点する）	実技得点計（60 点以上合格）
	1	2	3	4	5	1	2	3	4		
得点事項	表情豊かに、感情をこめて表現している	明瞭な発音で、話している	お話の内容にふさわしい表現で、間の取り方が適切である	幼児への視線が適切で、聞き手の反応を確かめている	お話の内容や発達段階にふさわしい速さで話している	対象児の年齢にふさわしい内容である	指導要項に示した①②③のうち、本年度指定の観点にふさわしい内容である	お話の内容が正しく適切である	幼児の夢をはぐくみ、共感できる内容である		
	0・3・5・8・10	0・3・5・8・10	0・3・5・8・10	0・3・5・8・10	0・3・5・8・10	0・1・3・5	0・1・3・5	0・3・5・8・10	0・3・5・8・10		
	50					30					80

# 指導上の留意点



# 共通項目

丁寧に

はっきり

恥ずかしがらず

大きな声

で「読む」「演じる」「話す」  
などの練習を繰り返し行う

# 「速さ」について

作品の内容，場面により速さや間は異なる

発達段階の違いを理解して作品を読み込む

3級の作品は2分程度で読めるものを提示している

# 「紙芝居」の扱い

- ・紙芝居の順番を確認する
- ・下読みを通して、登場人物等を確認する
- ・採点表の得点事項にそって、3分で演じられるように、繰り返し練習しておく

# 絵本の持ち方・めくり方

- ・安定した持ち方
- ・絵をじゃましないめくり方



# 「新しい絵本」は「開きぐせ」をつけておこう！

①



②



「開きぐせ」をつけることで、絵本が扱いやすくなると共に、長持ちする。  
＊１ページずつ丁寧に  
行うとよい。

・帯は外しましょう。

③



④





# 「お話」の作り方

- ①ゆるやかに始まる ②その後いろいろに変化  
③山場を迎える ④急速に解決へ ⑤結末につながる

★台本はせりふを多くし、説明は少なく

表情豊かに語る

★何度も音読し、理解されにくいところは  
加筆訂正する

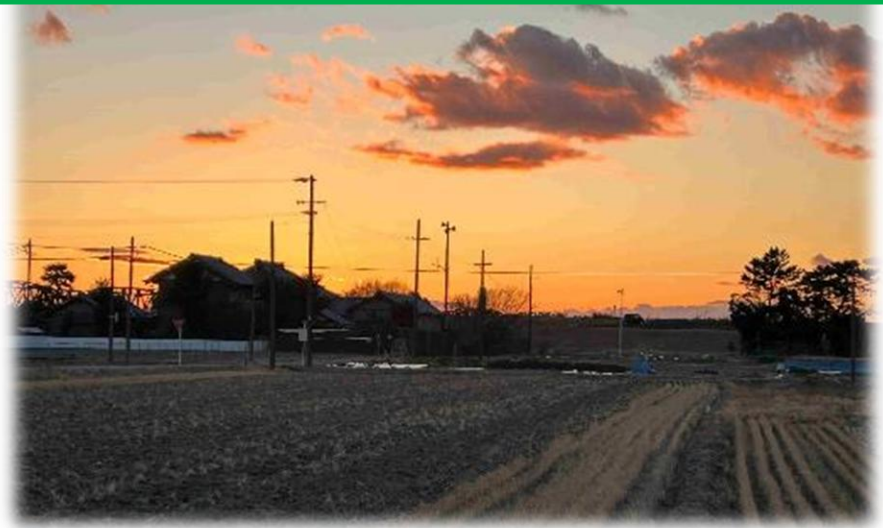
★場面ごとの情景を思い浮かべながら語る  
(声を出して練習する)

★高等学校用「保育実践」文部科学省 参照

# 自然を観察する習慣



「自然の変化」を日常的に観察する癖をつけておくと、お話づくりの時に生かしやすい



## 図鑑などの活用

昆虫や植物などについて、図鑑などで調べたり、確認したりすることが大切です。

# 上達のコツ

- ・ 複数の幼児が目の前にいること  
をイメージして，練習する
- ・ 鏡を見ながら練習する。自分の姿や表情，癖などに気づきやすい
- ・ 友達と一緒に練習し，  
助言し，励まし合う



# Ⅰ級の評価

「豊かな情操や心を育てる」内容のお話を創作しなさい。そのお話を対象児を前にしたつもりで、3分間で語りなさい。

対象児：4歳児 題名：三つの種

対象児：4歳児 題名：転校生のガオくん

本日の研修資料として本人、保護者の了承を得て演じてもらっています。動画や静止画の撮影は絶対にしないでください。



# 4 歳児

[illegible]